

授業科目 NO. 306 老年看護学概論

Introduction to Gerontological Nursing

授業の形態：講義

単位数（時間数）：2単位（30時間）

開講年次・学期：2年次・前期

必修・選択の別：必修

キーワード：老年看護、加齢、ライフサイクル、高齢者の健康問題、高齢者の生活、高齢社会、保健医療福祉制度

1 金沢医科大学看護学部の到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② **看護学の知識と技術、及び実践力**
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

加齢変化、ライフサイクル、高齢者をとりまく社会環境の側面から高齢者の健康と生活、および看護の役割について理解し、老年看護実践の基礎となる知識を修得する。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 加齢に伴う高齢者の身体的・心理的・社会的変化と生活への影響を説明できる。(①②)
- (2) ライフサイクルの側面から老年期の特徴を説明できる。(①②)
- (3) 高齢者をとりまく社会の動向について国際比較を含めて説明できる。(②⑤)
- (4) 高齢者の健康と生活の特徴を説明できる。(①②)
- (5) 老年看護の特徴を説明できる。(①②③)
- (6) 高齢社会における保健医療福祉の動向と課題を説明できる。(①②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評 価

| 評価項目 | 評価割合 |
|--------|------|
| 定期試験成績 | 70% |
| 実習成績 | % |
| レポート | 30% |
| 授業態度 | % |
| 小テスト | % |
| その他 | % |
| 合計 | 100% |

(特記事項) 定期試験は第1回～第7回、第10回～第14回の講義内容について実施する。

5 教育担当者

科目責任者：平松 知子

教 授 平松 知子 (老年看護学)
 嘱託教授 岩井 邦充 (高齢者医学)
 准教授 橋本 智江 (老年看護学)
 嘱託講師 直井 千津子 (老年看護学)
 助 教 岩本 陽子 (老年看護学)

6 教育担当者の実務経験

岩井教授は医療機関での実務経験を有している。
 他の担当教員は看護師としての実務経験を有している。

7 教 科 書

- 1) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 (医学書院)
- 2) 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論 (医学書院)

8 推 薦 参 考 書

内閣府 HP 高齢者白書, 厚生労働省 HP 人口動態調査, 国民衛生の動向 (厚生労働統計協会)
 その他 授業の中で適宜紹介する。

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。

事前学習には教科書及び推薦参考書を活用してください。

- 1・2回目の授業 教科書1) 第2章 超高齢社会と社会保障
- 3・7回目の授業 教科書1) 第1章 老いるということ, 老いを生きるということ
- 4・5回目の授業 教科書1) 第4章 身体の変遷変化、第5章 コミュニケーション
- 6回目の授業 教科書2)

8回目の授業 高齢者の生きた時代の体験

9回目の授業 加齢変化と生活への影響の体験（高齢者疑似体験）

10・14・15回目の授業 教科書 1) 第6章 C ③認知症 教科書 2) 第4章 A 認知症

11-13回目の授業 教科書 1) 第3章 老年看護のなりたち

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

提出された課題については、講義の中で取り上げ解説を行う。

11 履修上の注意事項

- 1) 「人体の構造と機能（呼吸器系、循環器系、消化器系、腎・泌尿器系、運動器系、感覚器系の解剖と生理）」「看護学原論 I（看護の対象、ライフサイクルと発達課題）」「医療と倫理」の授業で学んだ内容について復習しておくこと。
- 2) ガイダンス時に配布する資料を基に、毎回授業内容および注意事項を確認しておくこと。

12 オフィスアワー等

質問は毎回授業終了後に受け付けるとともに、終了時に配布するコメント用紙に記載して下さい。その場合は次回の授業冒頭で対応します。上記以外にも、質問等は随時受け付けますが、対応できない場合もありますので、事前にメール等で連絡して下さい。

連絡先

平松知子・岩井邦充 : hiramatu@kanazawa-med.ac.jp

橋本 智江 : hashimo@kanazawa-med.ac.jp

直井 千津子 : c-naoi@kanazawa-med.ac.jp

岩本 陽子 : otoitu@kanazawa-med.ac.jp

第2学年

老年看護学概論

| 学期 | 回数 | 開講日 | 時限 | 区分 | 講義・実習内容 | レポート/小テスト等 | 講座・科目群名 | 教員名 |
|----|----|----------|----|----|----------------------------|----------------|---------|----------------------|
| 前 | 1 | 4月08日(火) | 3 | 講義 | 高齢社会の現状 | | 老年看護学 | 橋本准教授 |
| 前 | 2 | 4月15日(火) | 3 | 講義 | 高齢社会における保健医療福祉の動向と課題 | | 老年看護学 | 橋本准教授 |
| 前 | 3 | 4月19日(土) | 1 | 講義 | 老化の生化学と老化で起こる疾患の総論 | | 高齢者医学 | 岩井教授 |
| 前 | 4 | 4月22日(火) | 3 | 講義 | 高齢者の概要、高齢者の生きた時代の体験 | レポート課題 | 老年看護学 | 平松教授,岩本助教 |
| 前 | 5 | 5月09日(金) | 3 | 講義 | 高齢者の健康と生活、ライフサイクルと老年期の発達課題 | | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 6 | 5月13日(火) | 3 | 講義 | 加齢に伴う身体機能の変化と生活への影響 | | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 7 | 5月20日(火) | 3 | 講義 | 加齢に伴う運動器・感覚器の変化と生活への影響 | | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 8 | 5月27日(火) | 3 | 講義 | 老年期を生きる人の理解 | レポート課題/グループワーク | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 9 | 6月03日(火) | 3 | 演習 | 加齢変化と生活への影響の体験(高齢者疑似体験) | レポート課題 | 老年看護学 | 岩本助教,橋本准教授,直井講師,平松教授 |
| 前 | 10 | 6月10日(火) | 3 | 講義 | 老年看護の理念、老年看護の役割1 | | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 11 | 6月17日(火) | 3 | 講義 | 老年看護の役割2 | | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 12 | 6月24日(火) | 3 | 講義 | 老年看護の役割3、老年看護に役立つ理論・概念 | | 老年看護学 | 平松教授 |
| 前 | 13 | 7月01日(火) | 3 | 講義 | 認知症高齢者の理解 | | 老年看護学 | 橋本准教授 |
| 前 | 14 | 8月26日(火) | 3 | 講義 | 認知症高齢者の看護 | | 老年看護学 | 橋本准教授 |
| 前 | 15 | 9月02日(火) | 3 | 講義 | 高齢者を支える家族の看護 | レポート課題 | 老年看護学 | 特別講師 高島里美,橋本准教授,平松教授 |